

単元評価規準と小単元評価規準

研究事例	第2章 経済生活とビジネス 知的財産に関するホームページを活用した授業展開例			
単元名	第2章 経済生活とビジネス 1 ビジネスの役割 2 ビジネスの発展 3 ビジネスに対する心構え			
単元の目標	経済生活を支えるビジネスの役割、ビジネスの発展及びビジネスに対する望ましい心構えや考え方について具体的な事例を通じて理解させる。			
単元 の 評 価 規 準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	経済生活とビジネスの関わりに関心をもち、ビジネスの役割とその発展について、自ら進んで調べたり、まとめたりとしようとするとともに、ビジネスに対する心構えを身に付けようとする。	ビジネスの役割やその発展及びビジネスに対する心構えについて、経済社会の一員として様々な角度から考察するとともに、ビジネスに関する諸問題を見つけようとする。	ビジネスの役割とその発展について様々な資料を活用して、客観的に把握し具体的に説明するとともに、ビジネスに対する基本的な心構えを身に付け実践する。	経済の仕組みやビジネスの役割とその発展について、基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスに対する基本的な心構えを理解し、自ら課題を見つけ出している。

小単元名	3 ビジネスに対する心構え（7時間）			
小単元の目標	ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行うための望ましい人間関係、社会性、倫理観など豊かな人間性と主体性、自己責任の観念、独創性などの創造的な能力を身に付けることの重要性に触れ、ビジネスに対する心構えについて理解させる。また、知的財産に関する事例を取り上げ、ビジネスに対する創造性や豊かな社会を作り上げていく上での望ましい考え方についても理解させる。			
小単元 の 評 価 規 準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	ビジネスの諸活動を遂行するために豊かな人間性や心構えが大切であることに気づき、自らそれを進んで身に付けようとする。	経済社会の一員として、ビジネスの諸活動を遂行するために必要な豊かな人間性や心構えを様々な角度から考察しようとする。	ビジネスの諸活動を遂行するための豊かな人間性と基本的な心構えを身に付け積極的に実践している。	ビジネスの諸活動を遂行するために豊かな人間性が大切であることを自覚し、基本的な心構えについて理解している。

小単元の指導と評価の計画

小単元「ビジネスに対する心構え」の指導と評価の計画

授業の流れ		一次 ビジネスの役割・・・・・・・・・・ (2時間) 二次 ビジネスの発展・・・・・・・・・・ (2時間) 三次 ビジネスに対する心構え・・・・・・・・ (3時間)				
次	時	学習内容	学習活動における具体的評価規準および評価方法			
			ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
1	1	・生産・流通・消費という経済の仕組みとその担い手である家計・企業・政府の関係について理解する。	・ビジネスとは何か、経済とどのような関係なのかについて関心を持ち、自ら意欲的に身近な事例を調べたりまとめたりしようとする。(行動観察)	・経済を支える仕組みと経済主体の関係、様々なビジネスの例をあげながら考察しようとする。(ノート)	・経済を支える仕組みと経済主体の関係、様々なビジネスの例をあげながら具体的に説明することができる。(ノート・発表)	・生産・流通・消費という経済を支える仕組みと経済主体としての家計・企業・財政の関係について基礎的・基本的な知識を身につけ、ビジネスの意義について理解している。(ノート)
	2	・企業が行う経済的諸活動の総称であるビジネスの意義や役割について理解する。	・ビジネスの役割について関心を持ち、自ら意欲的に事例をあげようとする。(行動観察・発表)	・ビジネスの役割について、ビジネスを様々な角度から考察し、共通点を見いだそうとする。(ノート)	・ビジネスの役割について、事例をあげながらその共通点をまとめて説明することができる。(ノート・発表)	・ビジネスの役割について、経済を支える仕組みや経済主体の関係に関する知識を前提に理解している。(ノート)
2	1	・国際化・情報化・サービス化・科学技術の進展等、経済を取り巻く環境の変化と関連させて理解する。	・経済を取り巻く環境の変化とビジネスの発展及びそれに伴う課題について、自ら意欲的に調べたりまとめたりしようとする。(行動観察)	・国際化・情報化社会の中で生産・流通・金融などはどのような革新を遂げているのか考察しようとする。(ノート)	・経済を取り巻く環境の変化とビジネスの発展について説明することができる。(ノート・発表)	・経済を取り巻く環境の変化とビジネスの発展について、それに伴う諸課題に対する方策に関して理解している。(ノート)
	2	・地球環境問題、エネルギー問題への対応など新たなビジネスの課題についても触れ、ビジネスの創造性の重要性について理解する。	・新たなビジネスの問題点に興味関心を持ち、それらのビジネスの問題点を調べてたりすることができる。(行動観察)	・経済を取り巻く環境の変化とビジネスの発展について身のまわりの経済生活を通じて考察し、それに伴う諸課題について気付いている。(行動観察)	・環境重視・環境保護のニーズに対応できる新しいビジネスについて提案することができる。(ノート・発表)	・ビジネスの発展に伴う諸問題を調べ、それについてまとめることができる。(ノート)

小単元の指導と評価の計画

小単元「ビジネスに対する心構え」の指導と評価の計画

授業の流れ		一次 ビジネスの役割・・・・・・・・・・ (2時間) 二次 ビジネスの発展・・・・・・・・・・ (2時間) 三次 ビジネスに対する心構え・・・・・・・・ (3時間)				
次	時	学習内容	学習活動における具体的評価規準および評価方法			
			ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
3	1	・ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行うためには望ましい人間関係、社会性、倫理観など豊かな人間性が必要であることを理解する。	・ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行うためには、豊かな人間性や創造性が大切であることに気付き、自ら意欲的に身に付けようと努力する。(行動観察)	・ビジネスに関する諸課題を解決するには、具体的に何が必要かを様々な角度から考察しようとする。(ワークシート)	・ビジネスに関する諸課題を解決するために何が必要かの意見を発表でき、自らもそのように実践している。(ワークシート・発表)	・ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行うための豊かな人間性や創造性を自覚し、基本的な心構えについて理解している。(ワークシート)
	2	・主体性、自己責任の観念、独創性などの創造的な能力を身に付けることに触れ、ビジネスに対する心構えについて理解させる。	・新しい技術やアイデアについて自ら意欲的に調べたりすることができる。(観察)	・新しい技術やアイデアについて様々な角度から考察するとともに、身のまわりの経済活動を通して自ら独創的なビジネスの諸活動を考える。(ワークシート・観察)	・ビジネスの諸活動を遂行するための豊かな人間性や創造性について、様々な資料を活用して把握し具体的に説明できる。(ワークシート)	・ビジネスの諸活動を発展させるためには豊かな人間性や創造性が大切であることを理解している。(ワークシート)
	3	・起業家精神や企業経営に関する理念を取り上げて、ビジネスに対する望ましい考え方についても理解する。	・起業家精神や企業経営に関することに興味関心をもち自ら意欲的に調べたりまとめたりしようとする。(ワークシート・発表)	・ベンチャービジネスの働きや仕組みについて、さまざまな角度から考察しようとしている。(ワークシート)	・ベンチャービジネスが経済活動を活性化している現状を客観的に把握し、その結果について適切に表現している。(ワークシート・発表)	・ベンチャービジネスの活動内容や創設に関する基礎的・基本的な知識を理解し、説明することができるか。(ワークシート)

学 習 指 導 案

科 目	ビジネス基礎	単元名	第2章 経済生活とビジネス 第4節 ビジネスに対する心構え	
本時の主題	2 技術やアイデアを生み出す (知的財産)			
本時の目標	①ビジネスに関する用語や新しい技術やアイデアについて自ら意欲的に調べたりすることができる。【関】 ②ビジネスに関する用語や新しい技術やアイデアについて様々な角度から考察するとともに、身のまわりの経済活動を通して自ら独創的なビジネスの諸活動を考える。【思】 ③ビジネスの諸活動を遂行するための豊かな人間性や創造性について、様々な資料を活用して把握し具体的に説明できる。【技】 ④ビジネスの諸活動を発展させるためには豊かな人間性や創造性が大切であることを理解できる。【知】			
過程	指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価	
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの復習 本時の目標を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスの世界で生きるうえで望ましい人間関係を築くことの必要性を理解しているか確認する。 本時の目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 発問により確認する。 パソコンの操作ができる状態であるか確認する。 	注1 資1
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産、知的財産制度、知的財産と私たちの生活との関係について理解する。 特許について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本弁理士会のホームページを開き、知的財産について調べる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 知的財産とは何か？ 知的財産制度とは何か？ 私たちの生活との関係はどうですか？ </div> <ul style="list-style-type: none"> 特許Q & Aを見ながらプリントの質問に答える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 特許とはどのようなものか？ 物のデザインやネーミングは特許になりますか？ 何年間有効ですか？ 発見と発明の違いは？ 特許をとることの意義は何か？ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの検索がスムーズにいくように留意する。 <p>[評価] パソコンを有効に活用し、必要な情報をプリントにまとめることができているか？ 〈評価方法〉(目標①) 机間指導による行動観察・発言</p> <p>[評価] プリントの質問に対して的確な考えを答えているか？ 〈評価方法〉(目標②) 机間指導による行動観察・発言 プリント</p>	注2 注3 注3 注4 注5 資3
	<ul style="list-style-type: none"> ヒットした商品について理解する。 新しい技術やアイデアがビジネスに生かされていくことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい技術やアイデアがある商品について考える。 プリントに記入する。 「ヒット商品を支えた知的財産権」の商品を選び、プリントにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身のまわりの商品で便利な商品を特許との結びつきについて留意させる。 <p>[評価] プリントの質問に対して的確に答えているか？ 〈評価方法〉(目標③) 机間指導による行動観察 プリント</p>	資2 注7 資3 注8
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめ プリント回収 	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産について理解できたか確認する。 本時の感想を書く。 	<p>[評価] ビジネスの諸活動を発展させるためには、日頃の生活の中で解決しようとする課題に着目する姿勢が大切であることを理解しているか。 〈評価方法〉(目標④) プリント</p>	注9

URL掲載許可のホームページ

- ・日本弁理士会 「<http://www.jpaa.or.jp/>」
- 「とつきよ探偵団<http://www.jpaa.or.jp/kids/index.html>」
- 「ヒット商品を支えた知的財産権<http://www.jpaa.or.jp/publication/hits/>」

1. 事前の準備

- (1) 資料 1 プリント①
資料 2 プリント②
資料 3 日本弁理士会のホームページ「<http://www.jpaa.or.jp/>」
- (2) 知的財産に関する URL 掲載許可のホームページ
- ・ 日本弁理士会 「<http://www.jpaa.or.jp/>」
「とつきよ探偵団 <http://www.jpaa.or.jp/kids/index.html>」
「ヒット商品を支えた知的財産権 <http://www.jpaa.or.jp/publication/hits/>」
 - ・ 日本弁理士会附属機関「知的財産支援センター」では、教育機関向けの支援活動も実施している。
参考 URL : <http://www.jpaa.or.jp/affiliation/center/center2.html>
 - ・ 北海道経済産業局 「<http://www.hkd.meti.go.jp/>」
「発明・工夫と特許の国 <http://www.hkd.meti.go.jp/hokig/student/index.htm#idea>」

2. 指導上のポイントと留意点

- 注 1 : ホームページを活用した授業展開のため、Web サイトが閲覧できる情報処理室を想定したものである。なお、一人一台が理想である。
- 注 2 : パソコンの操作方法は、個人差がある点に留意する。
- 注 3 : 日本弁理士会のホームページを検索する。
「こどもたちのページとつきよ探偵団」のアイコンを開かせる。
余分な操作をさせない。
- 注 4 : 「みんなの生活と知的財産との関わり」のアイコンを開かせる。
余分な操作をさせない。
- 注 5 : 机間指導をしながら生徒の考えや状況を把握する。授業の進度に反映させる。
- 注 6 : 簡潔にまとめるように留意する。
- 注 7 : 自分自身の発想や考案を柔軟に導くことができるよう留意する。
- 注 8 : 発明をする人が損をしないように、努力の結晶である発明や創作を、無断でマネできないように守る必要について留意する。
- 注 9 : 知的財産（所有）権制度について、特許権だけではなく、著作物の不正コピーの問題についても触れる。

資料 1

技術やアイデアを生み出す ～ 知的財産 ～

年 組 番氏名 _____

1. 知的財産とは何か？

2. 知的財産制度には、どんなものがありますか？

「保護するもの」

(ア) _____ ()

(イ) _____ ()

(ウ) _____ ()

(エ) _____ ()

(オ) _____ ()

(カ) _____ ()

3. 知的財産は、わたしたちの生活と関係がありますか？

4. 特許とはどのようなものですか？

5. 物のデザインやネーミングは特許になりますか？

6. 特許は何年間有効ですか？

7. 発見と発明の違いを答えなさい。

8. 特許をとることの意義（ねらい）は何ですか？

資料2

技術やアイデアを生み出す ～ 知的財産 ～

年 組 番氏名 _____

1. あなたの知っているまたは、身近にある商品で特許を取得している商品を1つあげなさい。

商品名 _____

その商品のどこが特許ですか？ _____

2. 「ヒット商品を支えた知的財産権」で興味・関心を持った商品を1つ選び、次の項目を記入しなさい。

(1) 商品名 _____

(2) 商品分類 _____

(3) メーカー名 _____

(4) 発売日（製造年月） _____

(5) 発想（開発の意図） _____

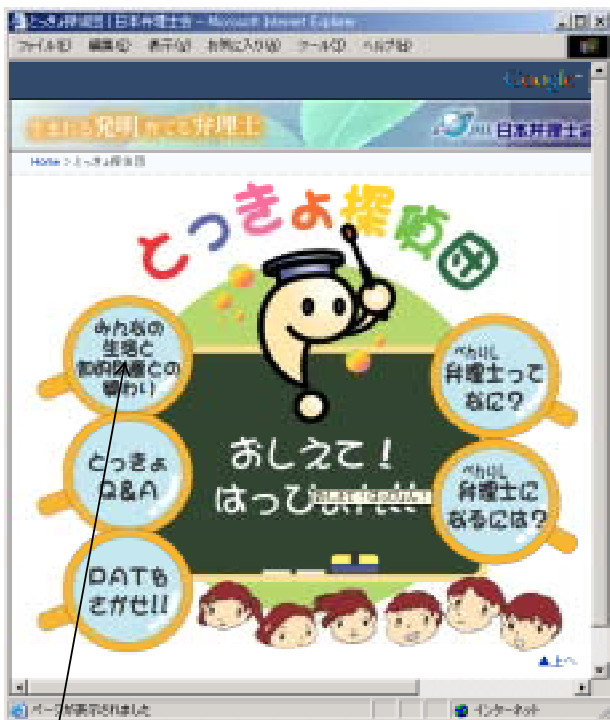
(6) 知的財産権の種類 _____

(7) 興味・関心を持った理由 _____

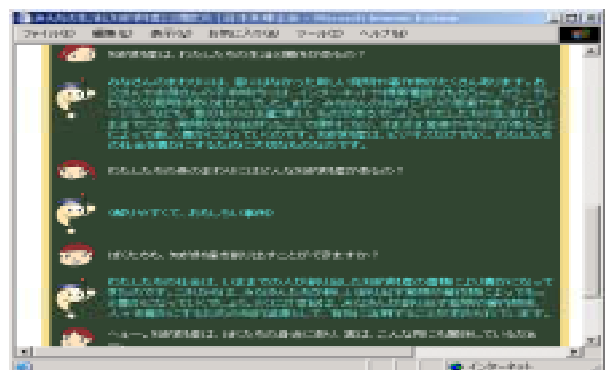
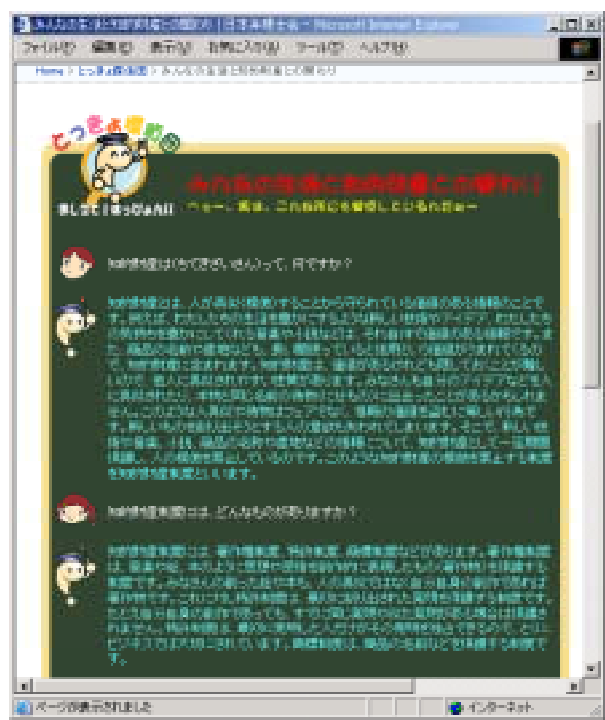
資料 3 - 1 「日本弁理士会」のホームページ「http://www.jpaa.or.jp/」より教材提供



とつきよ探偵団をクリックする。



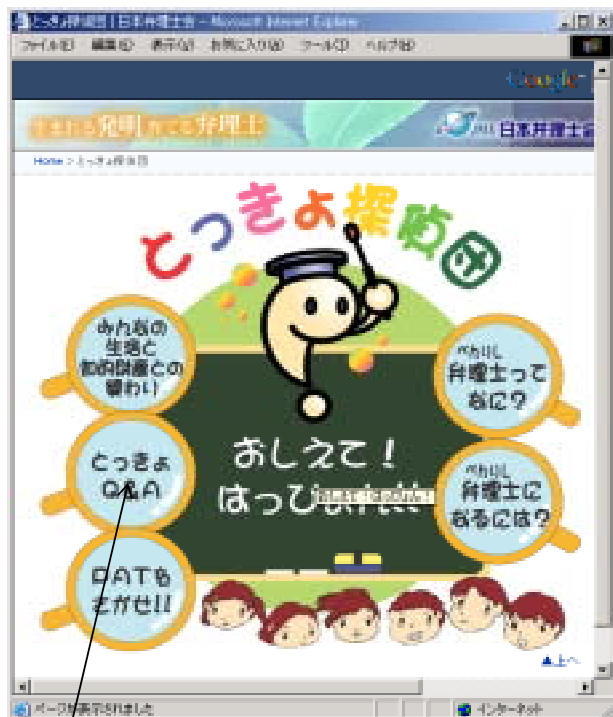
ここをクリック



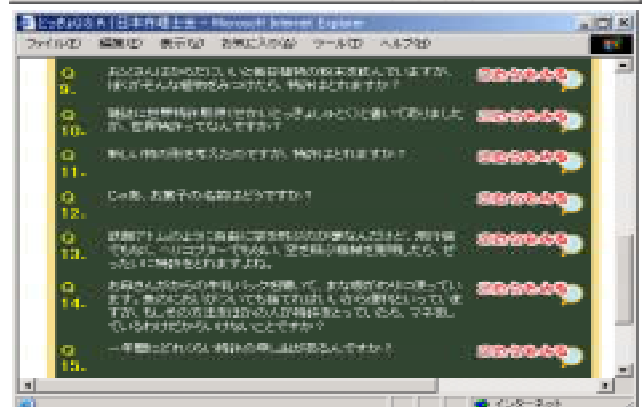
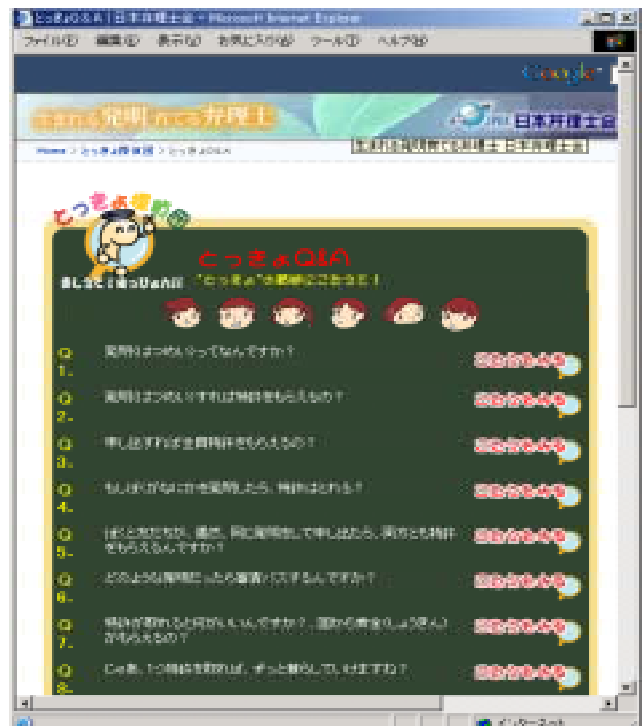
資料 3 - 2 「日本弁理士会」のホームページ「http://www.jpaa.or.jp/」より教材提供



とっきよ探偵団をクリックする。

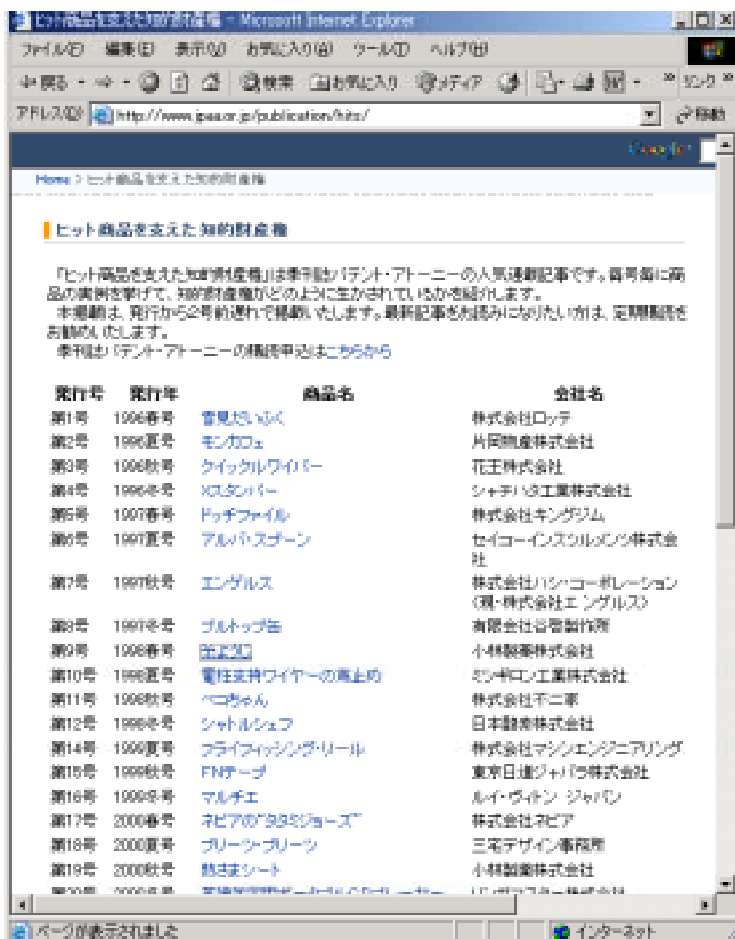


ここをクリック





・ヒット商品を支えた知的財産権をクリックする。



・この中から興味・関心がある商品または、知っている商品を選び、ワークシートに記入する。

- ・商品名
- ・メーカー名
- ・発売日（製造年月）
- ・発想（開発の意図）
- ・知的財産権の種類
- ・興味関心を持った理由

